

## 野菜花き 8月上旬巡回調査結果の概要について

【東北信】 巡回日 8月6日、7日

### 1 トマト

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は、収穫中であった。オオタバコガの産卵が6月下旬から継続して確認され、被害果もみられた。アザミウマ類の寄生もみられたが、発生量は前回調査よりも減少していた。ハモグリバエ類の寄生がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。



図1 トマトの葉に寄生したハモグリバエ類（長野市）



図2 オンシツツヤコバチに寄生され黒化したオンシツコナジラミの幼虫（長野市）

長野市の巡回ほ場（施設栽培）は、収穫中であった。前回調査でみられたうどんこ病は防除等により抑制されていた。虫害では、ハモグリバエ類の寄生がわずかにみられたほか（図1）、オンシツコナジラミの寄生株率が高かったが、天敵寄生蜂（オンシツツヤコバチ）の寄生により多発には至っていなかった（図2）。

### 2 きゅうり

長野市の巡回ほ場（施設栽培）は、収穫中であった。前回調査でみられたうどんこ病の発病株は微増していた。虫害では、アザミウマ類の寄生もみられたが（優占種はミカンキイロアザミウマ）、前回調査よりも減少していた。



図3 きゅうりのべと病（中野市）



図4 きゅうりの花に寄生するオオタバコガ（中野市）

中野市の巡回ほ場（露地栽培）は、収穫中であった。病害では灰色かび病のほか、べと病の発生がみられた（図3）。虫害ではアザミウマ類、ハモグリバエ類のほか、オオタバコガの寄生がみられた（図4）。

### 3 いちご

南牧村の巡回ほ場は、収穫期であった。アザミウマ類の寄生がみられたが、寄生花率は前回調査よりも低かった。病害の発生はみられなかった。

### 4 キャベツ

小諸市、軽井沢町の巡回ほ場は、生育期（8～9葉期）であった。いずれもチョウ目害虫による食害がみられた。病害の発生はみられなかった。

南牧村、長野市の巡回ほ場は、定植直後であった。病虫害の発生はみられなかった。

## 5 ブロッコリー

南牧村の巡回ほ場は、生育期（14葉期）であった。虫害ではチョウ目害虫の被害株がみられた。病害の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は、着蕾期であった。コナガ、ウワバ類等チョウ目害虫の食害がほぼすべての株でみられたほか、アザミウマ類が多発し、葉への被害が目立った（図5）。病害の発生はみられなかった。



図5 ブロッコリーの葉を食害するアザミウマ類（御代田町）

## 6 はくさい

上田市の巡回ほ場は、生育期であった。虫害では、チョウ目害虫の食害株がみられ、病害では、べと病の発生がわずかにみられた（図6）。

小諸市の巡回ほ場は、作付けがなかった。

小海町の巡回ほ場は、収穫が終了していた。

南牧村の巡回ほ場は、結球期であった。虫害では、チョウ目害虫の食害株がみられ、病害では、ウイルス病、黒斑病（図7）の発生がわずかにみられた。



図6 はくさいのべと病（上田市）



図7 はくさいの黒斑病（南牧村）

## 7 レタス

上田市の巡回ほ場は、収穫期であった。病害では、すそ枯病のほか、菌核病の発生がわずかにみられた（図8）。虫害の発生はみられなかった。

小諸市、御代田町の巡回ほ場は、収穫が終了していた。

南牧村の巡回ほ場は、収穫期であった。病害では、すそ枯病の発生がわずかにみられた。虫害の発生はみられなかった。



図8 レタスの菌核病（上田市）

## 8 アスパラガス

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は、立茎期であった。病害では、茎枯病の発生がみられ始めた。虫害では、アザミウマ類の寄生株率が高かった。

小布施町の巡回ほ場（雨よけ栽培）は、立茎期であった。虫害では、防除等により前回調査よりもアザミウマ類の寄生株率は減少し、ハダニ類の寄生はみられなかった。病害の発生はみられなかった。

飯山市の巡回ほ場（露地栽培）は、立茎期であった。病害では、茎枯病の発生がみられ、病勢はやや進展していた。虫害では、アザミウマ類の寄生株率がやや高かった。

## 9 ながいも

長野市の巡回ほ場は、生育期であった。病虫害の発生はみられなかった。

## 10 きく

佐久穂町の巡回ほ場は、収穫中であった。ハモグリバエ類の寄生（図9）とアザミウマ類による花卉への食害痕（図10）がわずかにみられた。病害では、黒斑病がみられたが、少発生であった。



図9 きくのはもグリバエ類（佐久穂町）



図10 きくの花弁へのアザミウマ類の食害痕（佐久穂町）

【中南信】 巡回日 8月6日、7日、10日、12日

1 トマト

南箕輪村の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、着花中であつた。病虫害の発生はみられなかった。

伊那市の巡回ほ場（露地栽培）は、収穫中であつた。茎葉および果実にオオタバコガ幼虫（少発生）の寄生がみられた。病害の発生はみられなかった。

安曇野市の巡回ほ場（露地栽培）は収穫中であつた。果実にオオタバコガ幼虫（少発生）の寄生がみられた。

2 きゅうり

松本市の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、着花中であつた。花および葉にアザミウマ類（少発生）の寄生がみられ、幼虫が多く確認され増加傾向であつた（図11）。

高森町の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は収穫中であつた。花にアザミウマ類（少発生）の寄生がみられた。



図11 きゅうりのアザミウマ類  
（松本市）

3 すいか

飯島町の巡回ほ場は、収穫期であつた（収穫終了によりほ場変更）。病虫害の発生はみられなかった。

松本市の巡回ほ場は、収穫が終了していた。

4 キャベツ

塩尻市の巡回ほ場は、未定植であつた。

朝日村の巡回ほ場は、生育初期であつた（収穫終了によりほ場変更）。病虫害の発生はみられなかった。

茅野市の巡回ほ場は、生育初期であつた（収穫終了によりほ場変更）。病虫害の発生はみられなかった。

5 はくさい

朝日村の巡回ほ場は、定植直後であつた（収穫終了によりほ場変更）。病虫害の発生はみられなかった。

木祖村の巡回ほ場は、生育期（6～7葉期）であつた。病虫害の発生はみられなかった。

6 レタス

塩尻市の巡回ほ場は、生育期（10～11葉期）であつた。病虫害の発生はみられなかった。

朝日村の巡回ほ場は、結球期であつた。病虫害の発生はみられなかった。

7 アスパラガス

豊丘村の巡回ほ場（雨よけ栽培）は、立茎期であつた。擬葉にアザミウマ類およびアブラムシ類（いずれも少～中発生）の寄生がみられたほか、擬葉および若茎にハダニ類（少発生）の初発が確認された。

飯島町の巡回ほ場（雨よけ栽培）は立茎期であつた。擬葉にアザミウマ類（少発生）がわずかに確認されたものの、前回確認されたチョウ目およびハダニ類は防除の実施により抑えられていた。病害では、茎枯病（中発生）が続けて発生しており、前回より病徴が拡大しているように感じられた。

松川村の巡回ほ場（露地栽培）は、立茎期であつた。擬葉にアザミウマ類（多発生）の寄生がみられ、依然として高密度の状態が続いていた。

8 ねぎ

南箕輪村の巡回ほ場は、本葉8.5～9.0葉であつた。葉に黒斑病（多発生）およびさび病（少発生）の発生がみられ、前回調査と同程度であつた。虫害についても、前回同様、葉にアザミウマ類およびネギハモグリバエ幼虫（いずれも多発生）の寄生がみられた（図12）。

山形村の巡回ほ場は、本葉7.0～8.0葉であつた。前回同様、葉にアザミウマ類（多発生）およびネギハモグリバエ幼虫の寄生（中発生）がみられた。病害では、黒斑病およびさび病（いずれも少発生）の発生がみられた。



図12 ネギアザミウマに寄生されたねぎ  
（南箕輪村）

9 ながいも

山形村の巡回ほ場は、生育期であつた。病虫害の発生はみられなかった。

10 きく

富士見町の巡回ほ場は、生育期（草丈約40cm）であつた。病虫害の発生はみられなかった。